

◇視聴報告まとめ<2017年1月6日号>◇

報道ステーション

○釜山、少女像に対抗措置、駐韓大使ら一時帰国へ

ソウル及び釜山の少女像の設置の経緯について、また、ウィーン条約の「大使館周辺でのデモの禁止」との規定が紹介された。大野支局長が「日韓合意を支えた①朴槿恵大統領②オバマ政権③韓国側のパイプ役イ・ビョンギュ元駐日大使という三つの力が一年間で崩れた結果、日韓合意を覆すような動きを止めることができなくなった」とコメント。

○トランプ次期大統領、トヨタのメキシコ新工場へ撤回要求

メキシコへの工場建設を行う自動車メーカーを Twitter で名指しで批判するトランプ氏の姿勢に対して「メキシコの雇用が悪化すると、メキシコからの移民の流入問題が悪化する」というコメントがスタジオではゲストコメンテーターの磯田さんからなされていた。

(検証者所感)

日韓問題が意外と淡々と報道されていて驚いた。少女像が置かれている場所が、本来であれば行政の許可あるいは黙認がなければ置けないという点に触れられているのもよかった。日本にとって日韓関係にメリットが語られないのが気になるころではある。個人的には、日本にとっての日韓関係はせいぜいアメリカのアジア政策の枠内で必要最小限度の関係維持で十分のような気がする。トランプに対しては、トランプが問題視している移民は不法移民であるという点が報道ではあまりにも軽んじられているような印象を受ける。

NEWS23

○日韓合意問題について

雨宮アナ「街の声では本当に市民レベルでは交流が広がっているのに、政府のレベルで厳しい対抗措置っていうのは」

星キャスター「そこは日韓両国は冷静に考える必要はありますよね。韓国は一回合意したわけですから合意を守る努力はしてもらいたいですよね。で日本の方も今回対抗措置とったわけですけども、これがもう限度でエスカレートさせないと。やっぱり隣国の大統領が今職務停止っていう非常に苦しい状況にあるわけですからそれは日本としても配慮する必要はありますよね」

(検証者所感)

星さんの言う「配慮」と「考慮」とは違うような気がします。日本政府に必要なのは配慮ではなく考慮です。小此木政夫教授の「韓国に当事者能力がなくなっている」というのは重要な指摘。雨宮アナが「街の声では市民レベルで交流が広がっているのに政府レベルでは」云々というのは典型的な政冷経熱問題、こういう関係ができるほど両国が成熟したという評価も可能です。